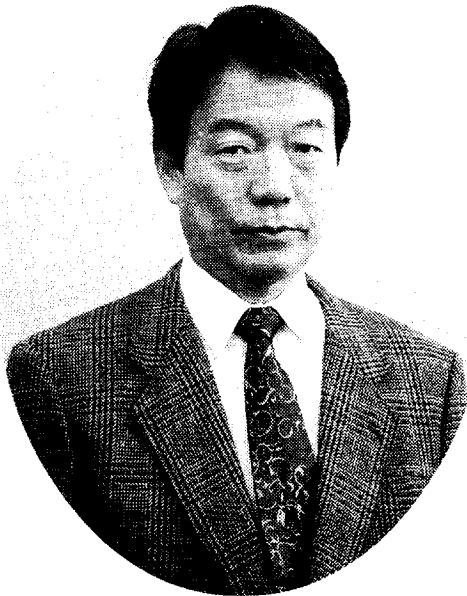


20世紀最後の年にあたって

日本熱測定学会 会長

大阪大学大学院理学研究科 教授 徂徠道夫



会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年夏の投票で凶らずも会長に選ばれ、今世紀と新世紀を橋架けする重要な時期に重責を担うことになりました。皆様のご協力を得て、本会の更なる発展に尽くしたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年は35回目の討論会が開催され、熱測定研究会発足から30年、日本熱測定学会設立から26年が経過しました。熱測定と熱分析は相補的役割を果たし共存共栄すべきだというコンセプトで本会を設立された先生方の達見と、会員の皆様のたゆまぬご努力が実り、両者が見事に融合した他に

類をみない学会になりました。これは世界に誇るべきことだと思います。これまでの先達の先生方のご尽力に学会として感謝するため、名誉会員制度の設置について高橋洋一先生が会長の時代に幹事会で十分に議論されました。昨年の第26回通常総会でこの制度が正式に認められ、関集三先生、神戸博太郎先生、森本哲雄先生、土屋亮吉先生、近藤良夫先生の5名の先生方が名誉会員になりました。これまでのご貢献にあらためて感謝の意を表すると共に、益々のご健勝をお祈りいたします。勿論これからも本学会のあり方について、高所大所からご教示頂けますことを願っております。

さて現在の会員数は約750名で、兄弟学会ともいうべき日本熱物性学会は約550名です。両学会にまたがる会員も多いですが、それでも1000名を越える人々が熱測定・熱物性に関心をもっています。これまた世界に類をみない傾向であり、外国からの訪問者を驚かせています。1977年にはICTAの第5回国際熱分析会議を京都で、また1996年にはIUPACの第14回化学熱力学国際会議を大阪で開催し、いずれも大きな成功をおさめ、本学会の力量を示しました。また1998年8月に本学会編として丸善から出版された「熱量測定・熱分析ハンドブック」は、120名もの本会会員が執筆に加わって完成させた明快な書物として好評を博し、出版1年目で増刷になりました。これだけ広い領域を一国の研究者だけでカバーできる国は、ほかにないと思います。

このように列举しますと、日本熱測定学会は世界のリーダーのような錯覚を覚えます。しかし私

がより多く関与するIUPACについて申せば、世界における我が国の評価は極めて低いと言わざるをえません。ここで言う評価の低さは学問的内容に関するものではなく、国際社会での役割や活動の場の少なさです。本学会が高く評価されることが、ひいては会員の皆様の国際社会での活躍の場を拓けることになると思います。その為には、学会と会員が世界に向けて発信し、自信のある研究成果は進んで国際会議で発表して、積極的に役割分担に加わっていくことだと思います。幸いなことに昨年11月に本学会のホームページが学術情報センターの「学情サーバー」に移転したことにより、世界に向けての本格的な情報発信の準備がホームページ・ワーキンググループの手で進められています [小棹理子, 熱測定 **26**(5), 198 (1999)]。ぜひ実現させたい学会事業として、上述の「熱量測定・熱分析ハンドブック」の英語版の出版があります。表題が本学会の特徴を呈していますので、わかりやすい本, 使いやすい本としての評価以外に、日本熱測定学会の大いなる宣伝にもなると思います。

昨年開催された第35回日本熱測定討論会では48の学協会が共催・協賛に加わっています。これほど多くの学協会が関与した討論会は他に類をみ

ません。これはひとえに熱力学の特徴を反映したものであり、熱力学の普遍性といえます。その意味でも熱測定学会に寄せられる他分野からの要請と期待は今後益々増大するでしょう。本学会としてはこれに応じてゆく責務があると思います。学会活性化の一つとして研究グループの形成と大型予算の獲得が考えられます。例えば文部省関係では科学研究費の中の基盤研究(C)・企画調査で研究グループを組織し、ゆくゆくは特定領域研究などへ繋がれば素晴らしいことです。学会として企画する事業ではありませんが、会員の皆様の中で気運が高まり毎年幾つかの申請がなされると、学会もおのずから活気づいてくることでしょう。

本年は20世紀最後の年に当たり、各方面でこれまでの総括と新世紀への取り組みが真剣に討議されることでしょう。21世紀はこれまで以上に国際化が進むでしょうが、その中で日本熱測定学会が如何に主導的な役割を果たせるかが大きな課題だと思います。これまで以上にアジア諸国との連携を深めることも大切だと思います。会員の皆様と新しい世紀に向けての取り組みを真剣に模索していきたいと思ひます。

日本熱測定学会の皆様のご健勝とご発展をお祈りいたします。